

【損保クラウド】標準M365移行 「IIJ ID」「GUARDIANWALL」 接続解除マニュアル



NTTドコモビジネス株式会社

2026年10月27日

Ver1.2

本マニュアルは、損保クラウドから標準の「Microsoft 365 from NTTドコモビジネス」（以下、標準M365）に移行するお客様を対象に、「IIJ ID」「GUARDIANWALL」の接続解除をしていただく手順を説明したものです。内容を十分にご確認のうえ、進めていただきますようお願い申し上げます。

なお、本マニュアルはMicrosoft 365の環境を初期化（デフォルト値への変更）するものではなく、「IIJ ID」および「GUARDIANWALL」の接続解除のみを目的としています。

■重要

本作業は標準M365の「**開通希望月の1日まで**」に実施をお願いいたします。

* 本マニュアルのサンプル画像はご利用のPC環境やバージョンによって画像は異なる場合がございます。

Ver	内容	日付
1.0	新規作成	2026/8/31
1.1	「1－1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット（共通/ハイブリッドプラン）」を追加	2026/9/15
1.2	<div><div>・「1－4. IIJ IDのフェデレーション解除」に検索によるM365□グイン方法手順を追加</div><div>・「3. エラー解消手順」を追加</div></div>	2026/10/27

1. IIJ IDの接続解除作業

- 1 – 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット（共通/ハイブリッドプラン）
- 1 – 2. M365のアカウントパスワードリセット
- 1 – 3. IIJ IDのプロビジョニング解除
- 1 – 4. IIJ IDのフェデレーション解除

2. GUARDIANWALLの接続解除作業

- 2 – 1. GUARDIANWALLのコネクタ削除

3. エラー解消手順

1. IIJ IDの接続解除作業

【重要】IIJ ID接続解除前に必ずご確認ください

IIJ IDの接続解除を行うと、ログイン画面が従来の「IIJ ID」から「Microsoft 365（M365）」へ完全に切り替わります（新環境ではIIJ IDを利用しません）。

現状、各アカウントはM365側にパスワードを持っていない状態です。そのため、**パスワードを設定しないままIIJ IDの連携を解除してしまうと、すべてのユーザーがM365へログインできなくなってしまう**ます。

トラブルを防ぐため、連携解除の前に必ず以下の対応をお願いいたします。

パスワードの事前設定

IIJ ID連携を解除する**前**に、本手順に従って必ず「全ユーザー」のM365アカウントに対してパスワード設定（リセット）を実施してください。

利用者への事前周知

連携解除後はログイン方法が変更となります。あらかじめ利用者様へログイン画面が変わる旨をご案内いただくとともに、本作業で設定した「新しいパスワード」を各ユーザーへ確実に周知してください。

1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット（共通/ハイブリッドプラン）

“共通/ハイブリッド”プランのお客様は、まず、M365上のお客様管理者アカウントパスワードを保持させるため、あらかじめ付与されている一時管理者アカウント（ncomgdap）を経由してパスワードリセットを行います。

“個別”プランのお客様は「1-2. M365のアカウントパスワードリセット」へお進みください。

作業の要約は下記の通りです。

【作業の流れ】

- 1 お客様管理者アカウント（移行申込書指定）でサインイン
- 2 一時管理者（ncomgdap）のパスワードリセット
- 3 一時管理者（ncomgdap）での再サインイン
- 4 お客様管理者アカウントのパスワードリセット
- 5 お客様管理者アカウントでの再サインイン
- 6 一時管理者（ncomgdap）の削除

<移行申込書のお客様管理者アカウントの記載場所>

損保クラウドの移行に関する情報		
★利用プラン（損保クラウド）	(必須)	選択▼
★管理者権限付与アカウント	(必須)	
※共通／ハイブリッドは記入必須 ※個別プランは記入不要		

1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット (共通/ハイブリッドプラン)

1 お客様管理者アカウント（移行申込書指定）でサインイン

お客様管理者アカウントでサインイン申込書で指定した「お客様管理者アカウント」を使用し、IIJ ID経由で Microsoft 365 管理センター にサインインします。

いつものIIJ IDのログイン画面からM365にログインし、
Microsoft 365管理センター
に管理者アカウントにてサインインします。

- ① 「アプリ」を選択
- ② 「管理」をクリック

管理センターへの直接URL：
<https://admin.microsoft.com>



1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット (共通/ハイブリッドプラン)

2 一時管理者 (ncomgdap) のパスワードリセット

Microsoft 365 管理センターにて、一時管理者アカウントのパスワードを設定します。

①[ユーザー] > [アクティブなユーザー]をクリック

②ユーザー一覧から、一時管理者アカウント「ncomgdap@～」にチェックを入れます。

③画面上部（または右側のパネル）にある [パスワードのリセット] をクリックします



1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット (共通/ハイブリッドプラン)

④任意のパスワードを入力して
[パスワードのリセット] を実行し
ます。※ここで設定したパスワ
ードは次の手順ですぐに使用しま
す。**必ずメモ等にお控えください。**

任意の仮パスワードを入れます。
条件はアルファベット大文字・小文字・
数字・記号の4種のうち、3種類を利用し
た8桁以上となります。
こちらは後程個別に変更してもらいます。

⑤画面右上のお客様アカウントア
イコンをクリックし、[サインア
ウト]を行います

パスワードのリセット

ncomgdap@r[redacted]insuranceagt.onmicrosoft.com

☐ パスワードを自動作成する

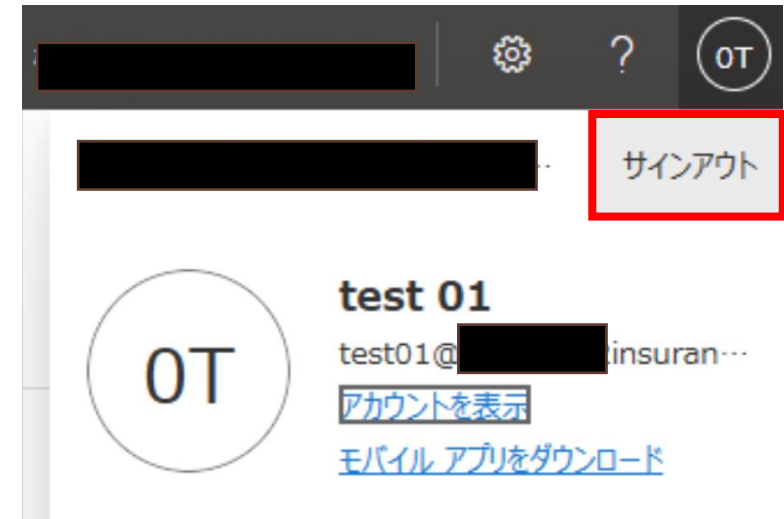
パスワードは 8 ~ 256 文字で、大文字、小文字、数字、記号のうち少なくとも 3 つ
を組み合わせて使用する必要があります。

パスワード *

..... 強力 🔍

☐ 初回サインイン時にこのユーザーにパスワードの変更を要求する

パスワードのリセット



1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット（共通/ハイブリッドプラン）

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

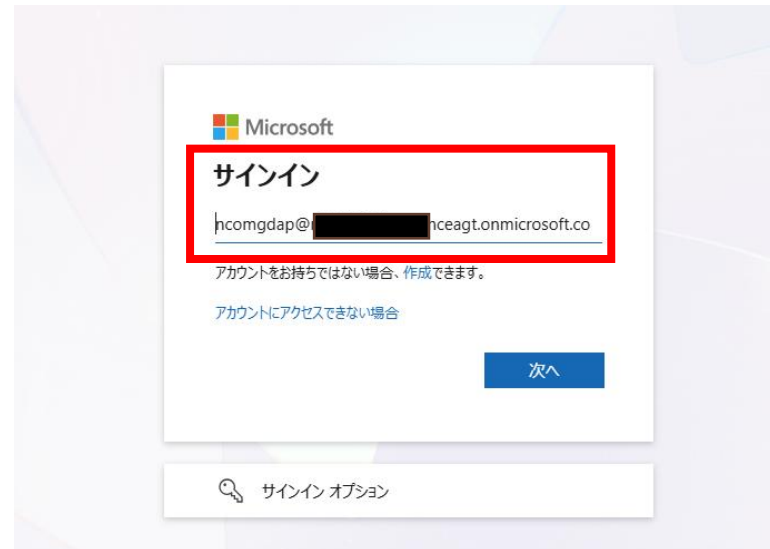
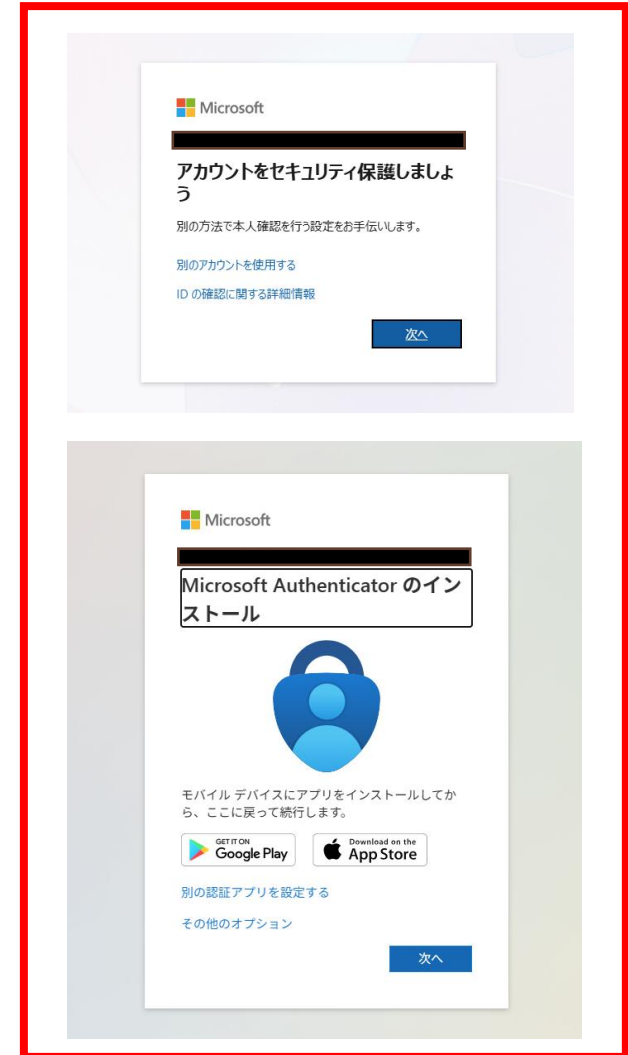
3 一時管理者（ncomgdap）での再サインイン

パスワードをリセットした一時管理者アカウントを使って、管理センターに入り直します。

①下記のM365 管理センター
<https://admin.microsoft.com>
へアクセスします。

②先ほどパスワードを再設定した「ncomgdap@～」のアカウントと、控えておいたパスワードを入力してサインインします。

※なお、2要素認証の設定を求められますので画面の指示に従って設定してください。



1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット（共通/ハイブリッドプラン）

4 お客様管理者アカウントのパスワードリセット

一時管理者（ncomgdap）の権限を利用して、お客様ご自身の管理者アカウントに対して「M365へ直接ログインするためのパスワード」を新たに付与します。

①[ユーザー] > [アクティブなユーザー]をクリック

②ユーザー一覧から、お客様ご自身の管理者アカウント（移行申込書で指定したアカウント）にチェックを入れます。

③画面上部（または右側のパネル）にある[パスワードのリセット]をクリックします

Microsoft 365 管理センター

ホーム > アクティブなユーザー

アクティブなユーザー

ユーザーの追加 多要素認証 更新 ユーザーの削除 **パスワードのリセット** 製品ライセンスの管理

フィルター セット: 共通して使用 ▼ ライセンス サインインの状態 ドメイン 場所

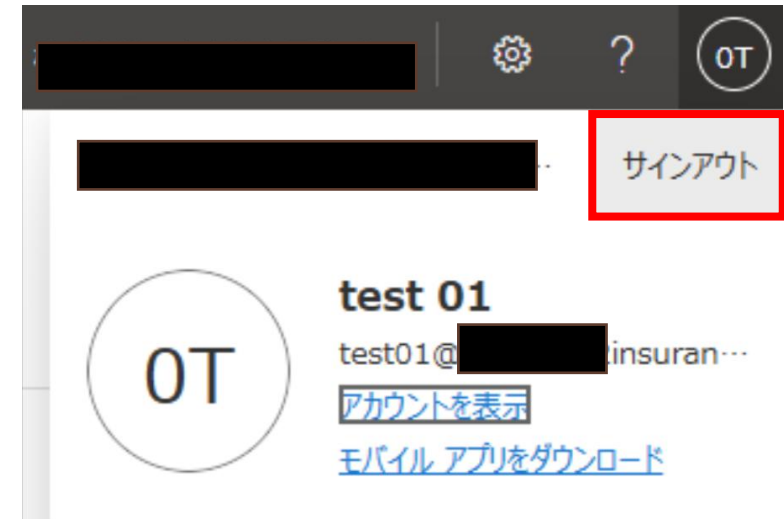
☐	表示名 ↑	ユーザー名	ライセンス
☐	ncomgdap	ncomgdap@insuranceagt.onmicrosoft.com	Unlicensed
☒	test 01	test01@	Unlicensed
☐			Unlicensed

1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット (共通/ハイブリッドプラン)

④任意のパスワードを入力して
[パスワードのリセット] を実行し
ます。※ここで設定したパスワ
ードは次の手順ですぐに使用しま
す。**必ずメモ等にお控えください。**

任意の仮パスワードを入れます。
条件はアルファベット大文字・小文字・
数字・記号の4種のうち、3種類を利用し
た8桁以上となります。
こちらは後程個別に変更してもらいます。

⑤画面右上の一時管理者
(ncomgdap) アカウントアイコ
ンをクリックし、[サインアウト]
を行います



1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット（共通/ハイブリッドプラン）

5 お客様管理者アカウントでの再サインイン

ご自身のパスワード設定が完了したため、一時管理者（ncomgdap）からサインアウトし、元の管理者アカウントへ入り直します。

いつものIIJ IDのログイン画面からM365にログインし、**M365管理センター**に管理者アカウントにてサインインします。

- ①「アプリ」を選択
- ②「管理」をクリック

管理センターへの直接URL：
<https://admin.microsoft.com>



1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット (共通/ハイブリッドプラン)

6 一時管理者 (ncomgdap) の削除

お客様ご自身の管理者パスワードの復旧が完了したため、セキュリティ保護の観点から、作業用に利用した一時管理者アカウントを削除します。

①[ユーザー] > [アクティブなユーザー]をクリック

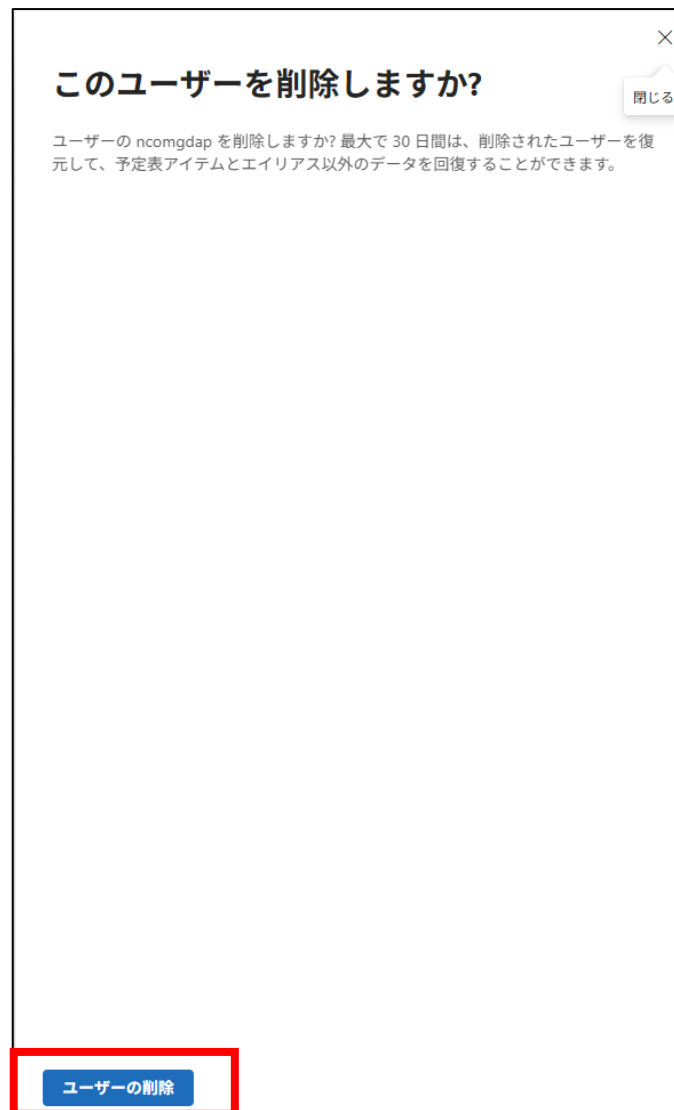
②ユーザー一覧から、一時管理者アカウント「ncomgdap@～」にチェックを入れます。

③画面上部にある[ユーザーの削除]をクリックします



1 - 1. お客様管理者アカウントのパスワードリセット（共通/ハイブリッドプラン）

④右側に確認パネルが表示されますので、内容を確認し、画面下部の [ユーザーの削除] ボタンをクリックして完了です。



1 - 2. M365のアカウントパスワードリセット

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

【重要】IIJ ID連携解除時の手順と注意事項

IIJ IDの連携解除を行うと、新環境ではIIJ IDを利用しないため、以降はM365への直接ログインへ完全に切り替わります（ログイン画面も従来の「IIJ ID」から「M365」へ変更となります）。ログイン不能となるトラブルを防ぐため、必ず以下の順序で作業を実施してください。

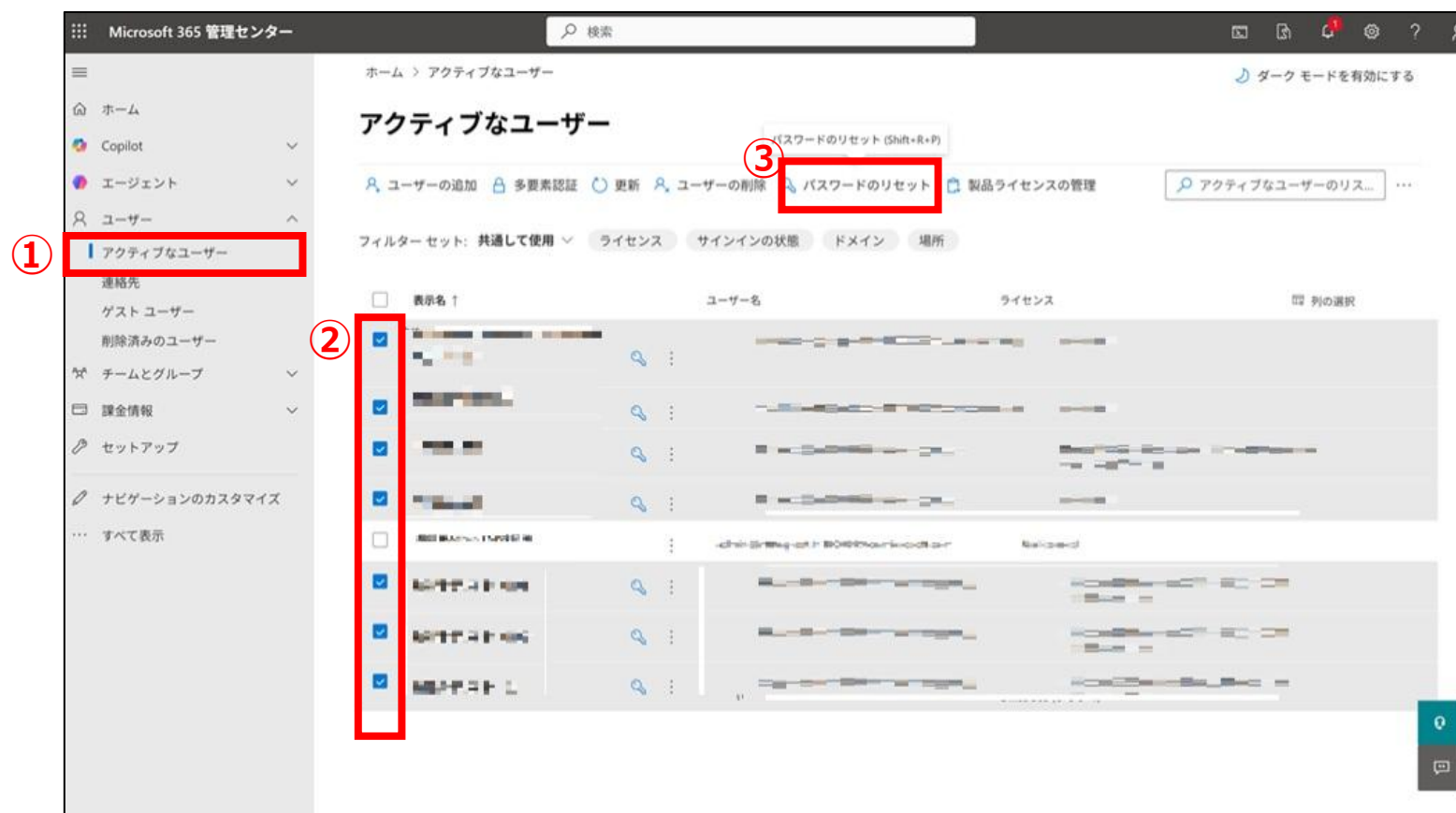
1. 全ユーザのM365のアカウントパスワードリセットを実施
2. 設定したM365ログイン時のパスワードをユーザへ周知
3. IIJ IDの連携解除を実施

①「ユーザー」の「アクティブなユーザー」を選択

※最大40ユーザずつの実施となります。

②パスワードをリセットするユーザーを選択
（自身の管理者アカウント以外を選択）

③「パスワードをリセット」をクリック



1 - 2. M365のアカウントパスワードリセット

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

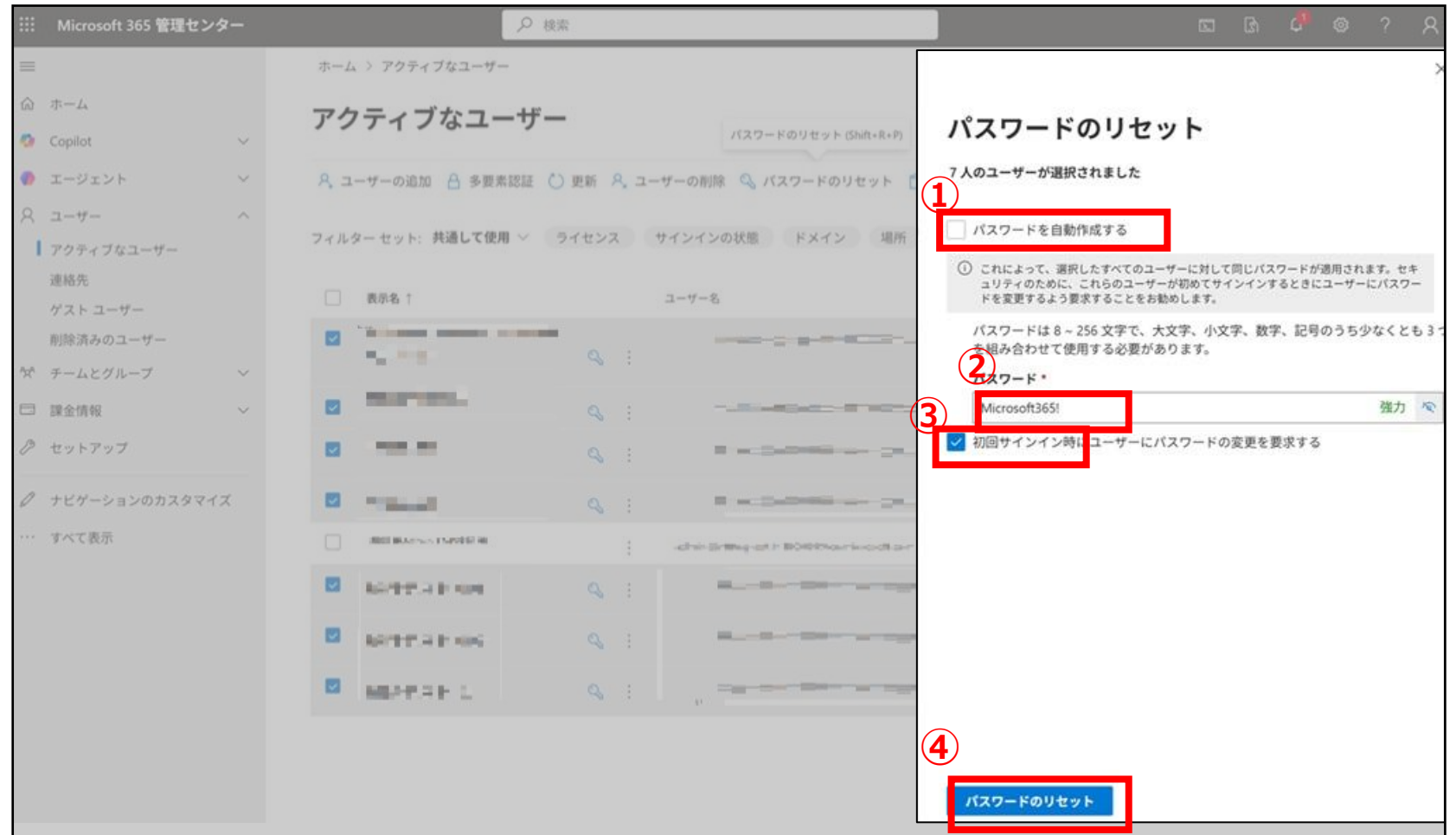
①「パスワードを自動生成する」のチェックを解除

②パスワードを入力

任意の仮パスワードを入れます。
条件はアルファベット大文字・小文字・
数字・記号の4種のうち、3種類を利用し
た8桁以上となります。
こちらは後程個別に変更してもらいます。

③「初回サインイン時にユーザーにパスワードの変更を要求する」をチェック

④「パスワードのリセット」をクリック



1 - 3. IIJ IDのプロビジョニング解除

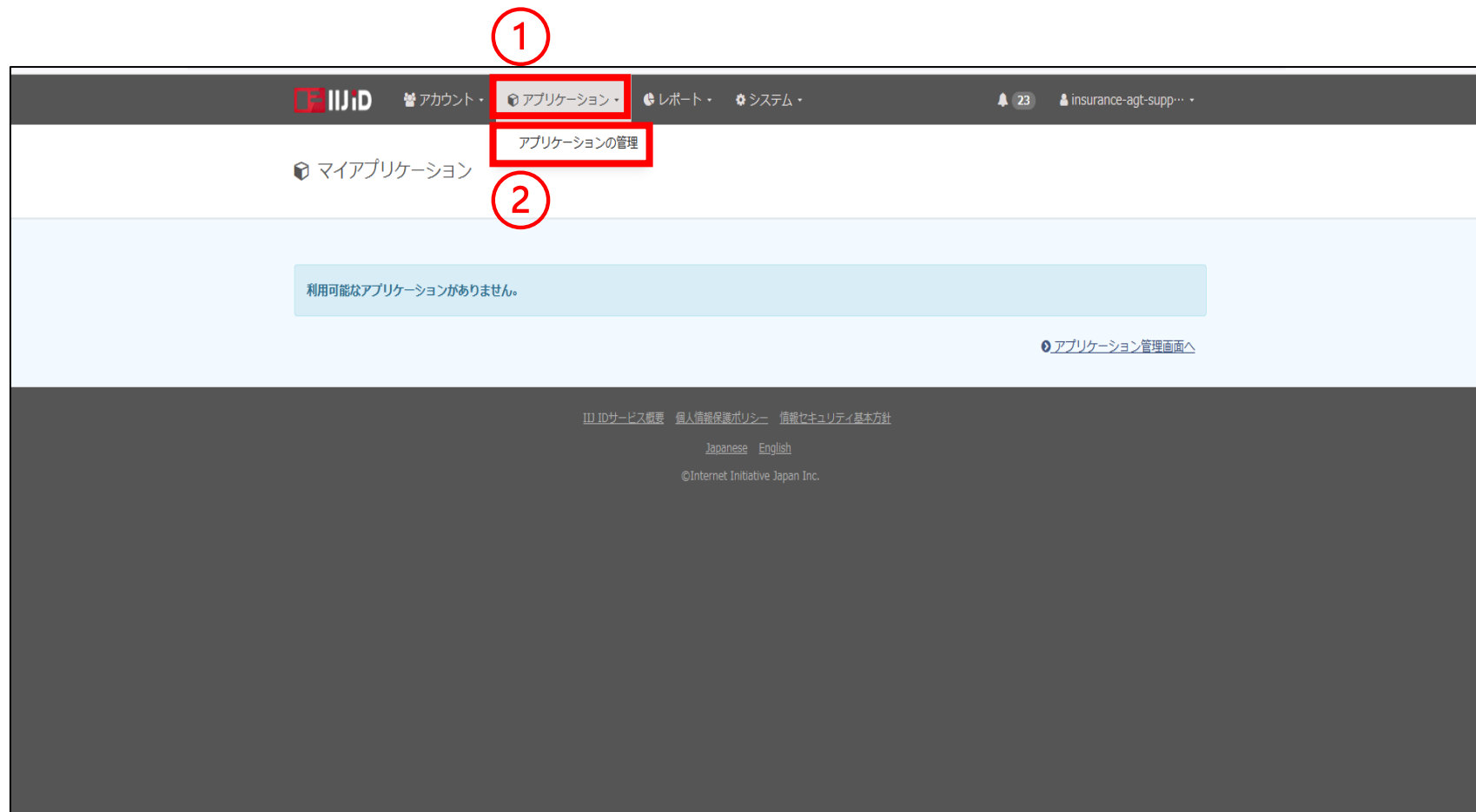
本作業を実施すると、IIJ IDで作成したアカウントはM365に反映されなくなります。
今後は、Microsoft 365管理センターからアカウント管理してください。

IIJ ID管理コンソールに、
管理者アカウントにてサイン
インします。

管理コンソールURL :
<https://www.auth.ij.jp/console/>

①[アプリケーション]ボタン
をクリックします。

②表示された[アプリケーショ
ンの管理]ボタンをクリックし
ます。



1 - 3. IJ IDのプロビジョニング解除

Microsoft 365の[編集する]ボタンをクリックします。



1 - 3. IIJ IDのプロビジョニング解除

[プロビジョニング設定]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the IIJ ID management console. At the top, there's a navigation bar with 'アカウント', 'アプリケーション', 'レポート', and 'システム'. The main header indicates 'アプリケーションの編集: Microsoft 365'. Below this, the application details for 'Microsoft 365' are shown, including its application code and a 'ライセンス割り当て数を表示する' button. A '削除' button is also present. The 'プロビジョニング設定' tab is highlighted with a red box. The settings table below shows that provisioning is not yet configured for the application.

■ アプリケーションコード	
■ アプリケーションの説明	説明は登録されていません
■ 最終エクスポート結果	プロビジョニング未設定
■ 最終インポート結果	プロビジョニング未設定

1 - 3. IIJ IDのプロビジョニング解除

[プロビジョニングを有効にしない]を選択します。

Microsoft 365
アプリケーションコード: [REDACTED]
ライセンス割り当て数を表示する ✕ 削除

使用可能 Microsoft

ダッシュボード 基本設定 Graph API設定 フェデレーション設定 **プロビジョニング設定** 利用者設定 グループ設定

プロビジョニングの有効化

☒ プロビジョニングを有効にする
ID情報をAzure ADと同期しません。

☐ プロビジョニングを有効にしない
プロビジョニングを有効にする
エクスポート・インポートの設定が可能になり、ID情報をAzure ADと同期できるようになります。

エクスポートの設定

- Azure ADへアカウントをエクスポートします。
- ユーザをエクスポートする場合は、利用者の設定をしてください。利用者設定は [こちら](#)
- グループをエクスポートする場合は、グループの設定をしてください。グループ設定は [こちら](#)

インポートの設定

- Azure ADからアカウントをインポートします。
- インポートの定期実行は1日間隔程度で実行されます。

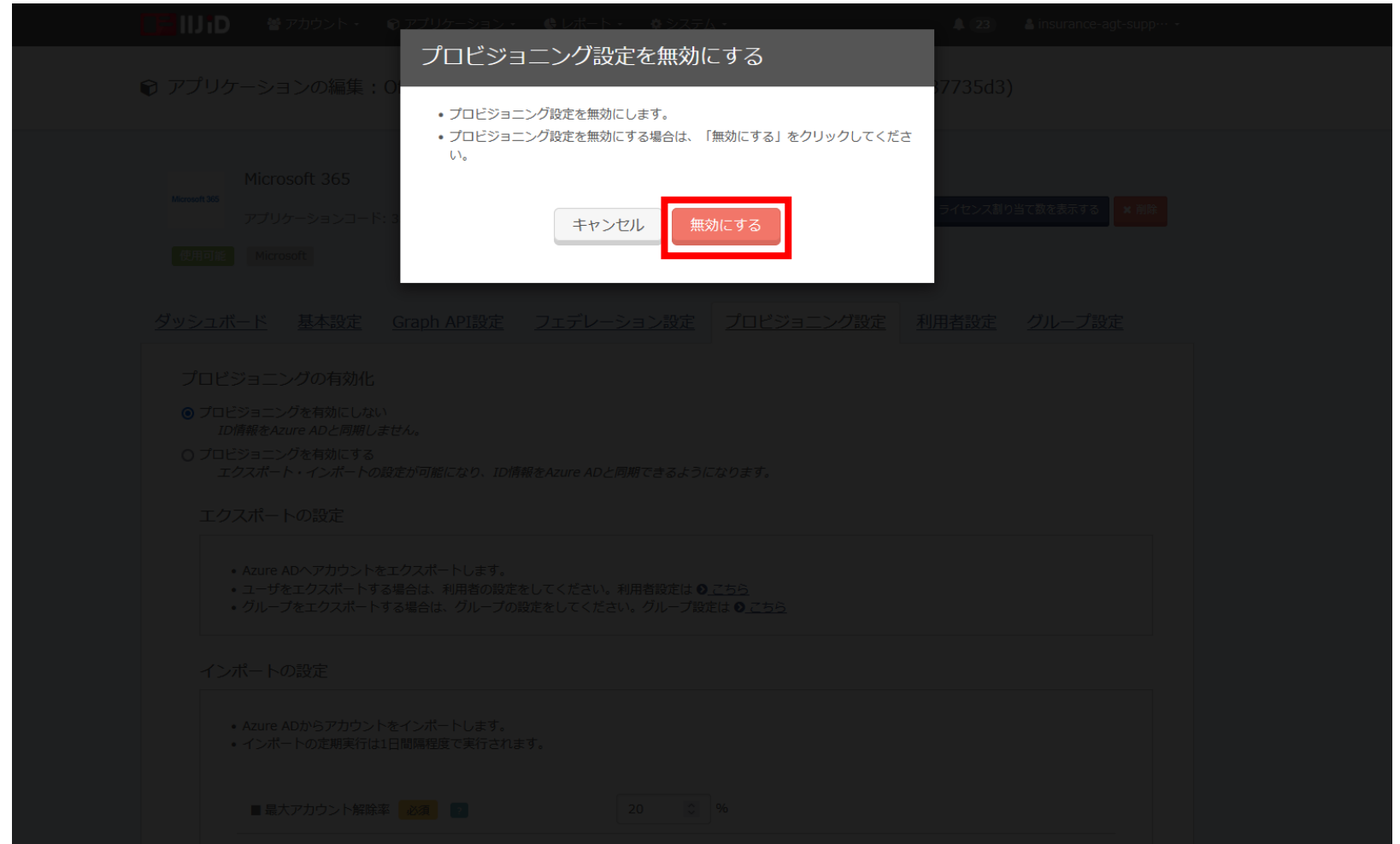
■ 最大アカウント解除率 必須 20 %

■ インポートの定期実行 定期実行を行わない

手動インポートを実行

1 - 3. IIJ IDのプロビジョニング解除

[プロビジョニング設定を無効にする]と記載されたポップアップが表示されますので、[無効にする]をクリックします。



1 - 4 . IIJ IDのフェデレーション解除

①[フェデレーション設定]をクリックします。

②ご利用中のドメインが表示されますので[×解除]をクリックします。



【重要】注意事項

IIJ IDのフェデレーション設定画面で、下記の状態となる場合がございます。
その場合、次ページへ進まず、下記リンクの作業が完了した後、改めて本ページから作業の再開をお願いいたします。

エラー 1 : (該当ページへのリンク)Microsoft Graph APIの設定エラー

エラー 2 : (該当ページへのリンク)認証連携画面に「×他のアプリケーションで連携済み」と表示され、[解除]ボタンが表示されない

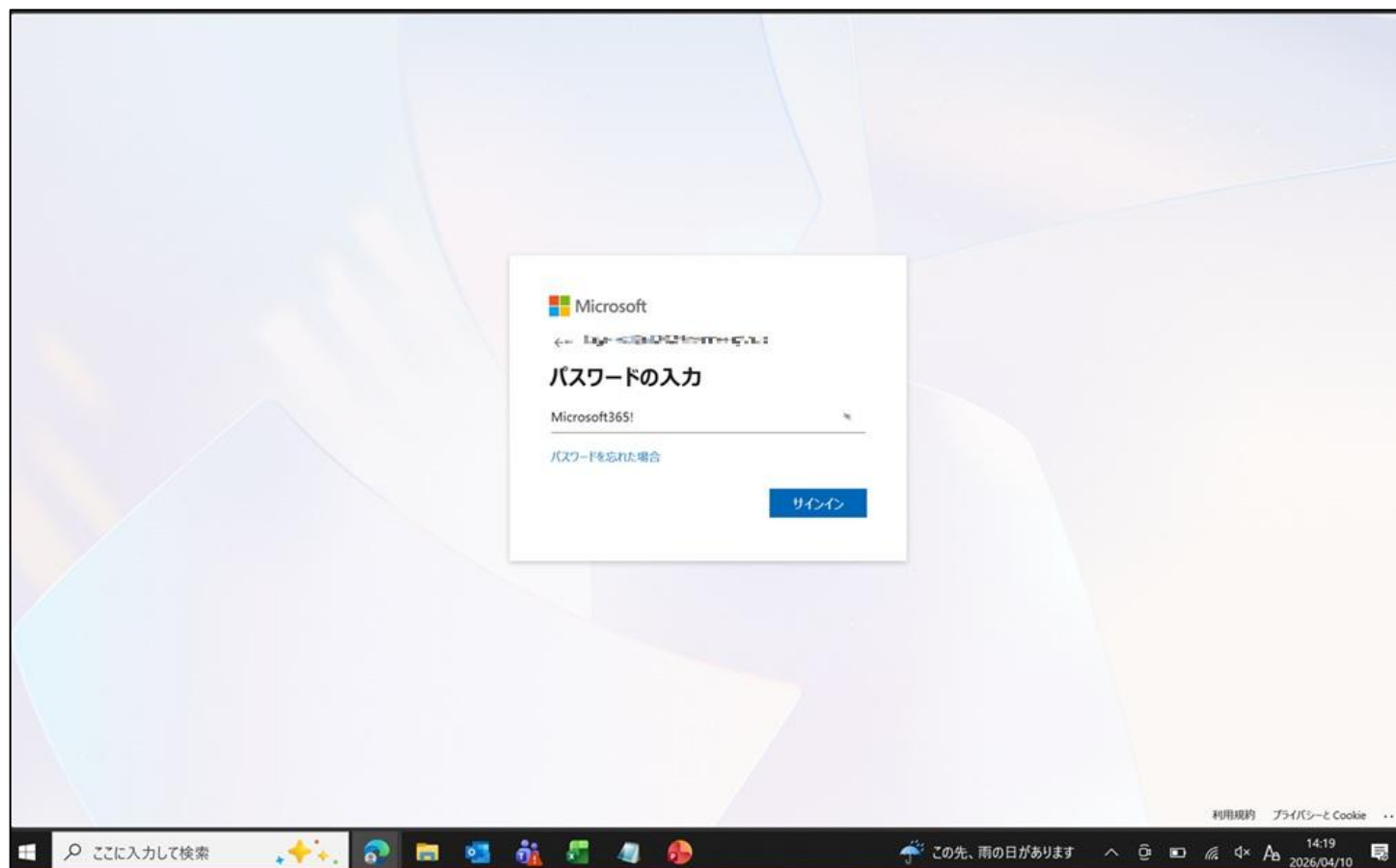
1 - 4. IIJ IDのフェデレーション解除

IIJ ID連携解除後は、新しく
設定したパスワードでM365
にログインします。

<https://portal.office.com>

該当のURLでログインが出来ない場合、
以下お試しください。

1. Microsoft EdgeまたはGoogle Chromeを開く。
2. 検索バーに「Microsoft365 ログイン」と検索する。
3. 「Microsoft 365 - Copilotにサインイン」をクリックする。※英語表記の場合、「Microsoft 365 - Sign into Copilot」となります。
4. サインインをクリックする。



2. GUARDIANWALLの接続解除作業

2 - 1. GUARDIANWALLのコネクタ削除

【注意】

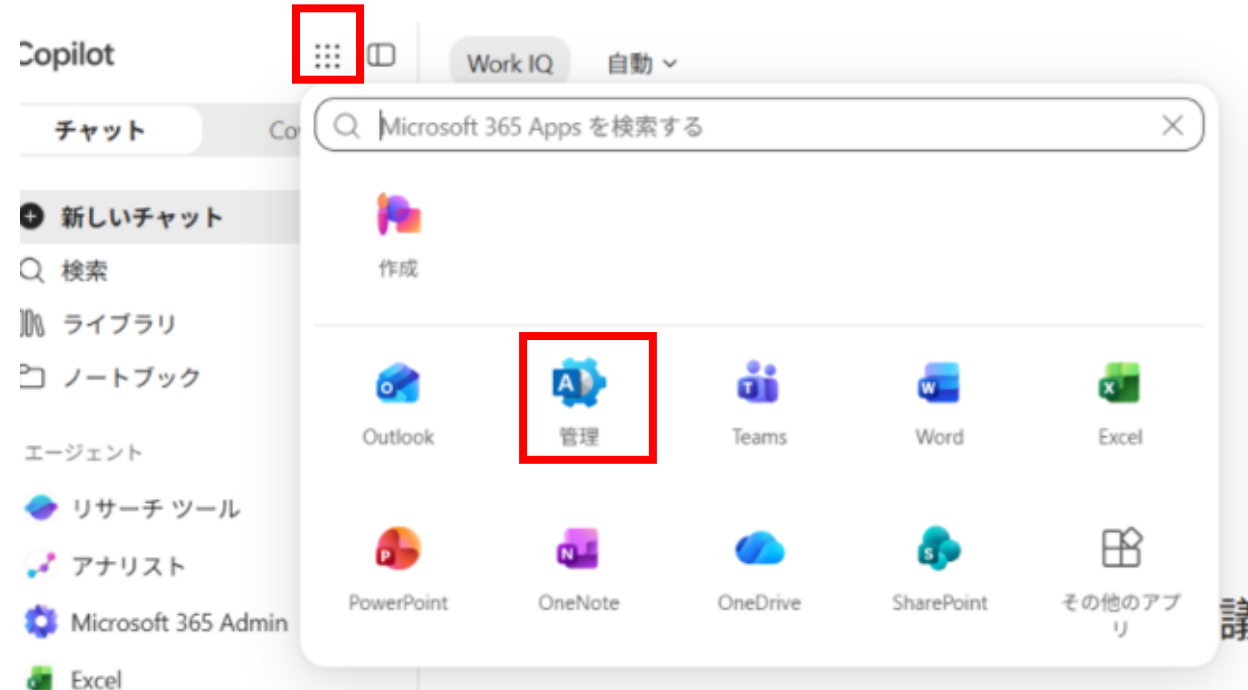
- GUARDIANWALLの接続解除を行うと、メール送信時の一時保留機能や添付ファイルの自動パスワード暗号化機能が利用できなくなります。新環境（標準M365）では本機能の提供がないため、この解除作業をもって該当機能の利用は完全に終了となります。
- 必ずあらかじめ利用者様へ周知した上でご実施ください。

Microsoft 365管理センター

に管理者アカウントにてサインインします。

①画面左上の9つの点をクリック

②「管理」をクリック



2 - 1. GUARDIANWALLのコネクタ削除

「すべて表示」をクリック



2 - 1. GUARDIANWALLのコネクタ削除

「Exchange」をクリック

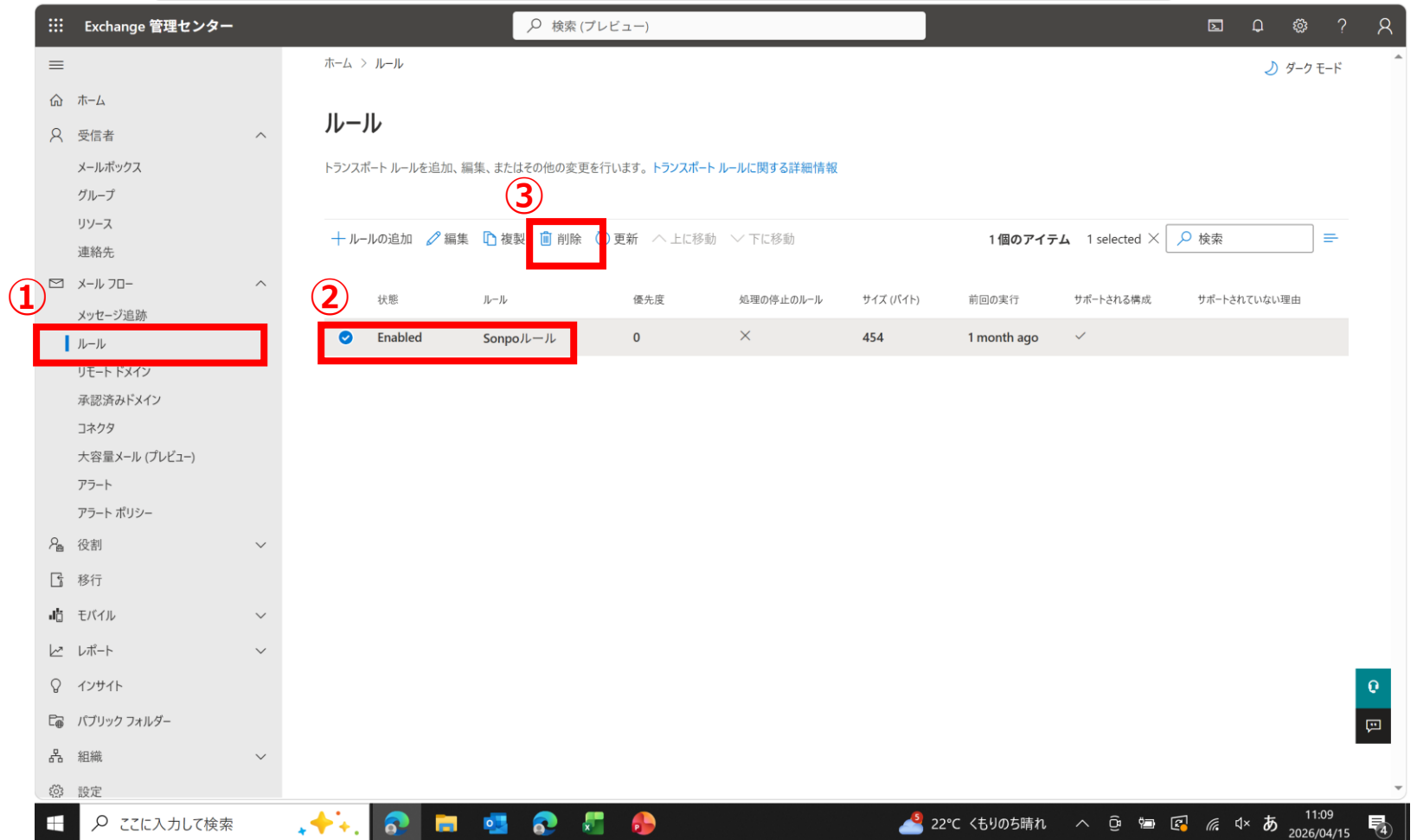


2 - 1. GUARDIANWALLのコネクタ削除

①「メールフロー」の「ルール」を選択

②「Sonpoルール」を確認し
チェック

③「削除」をクリック

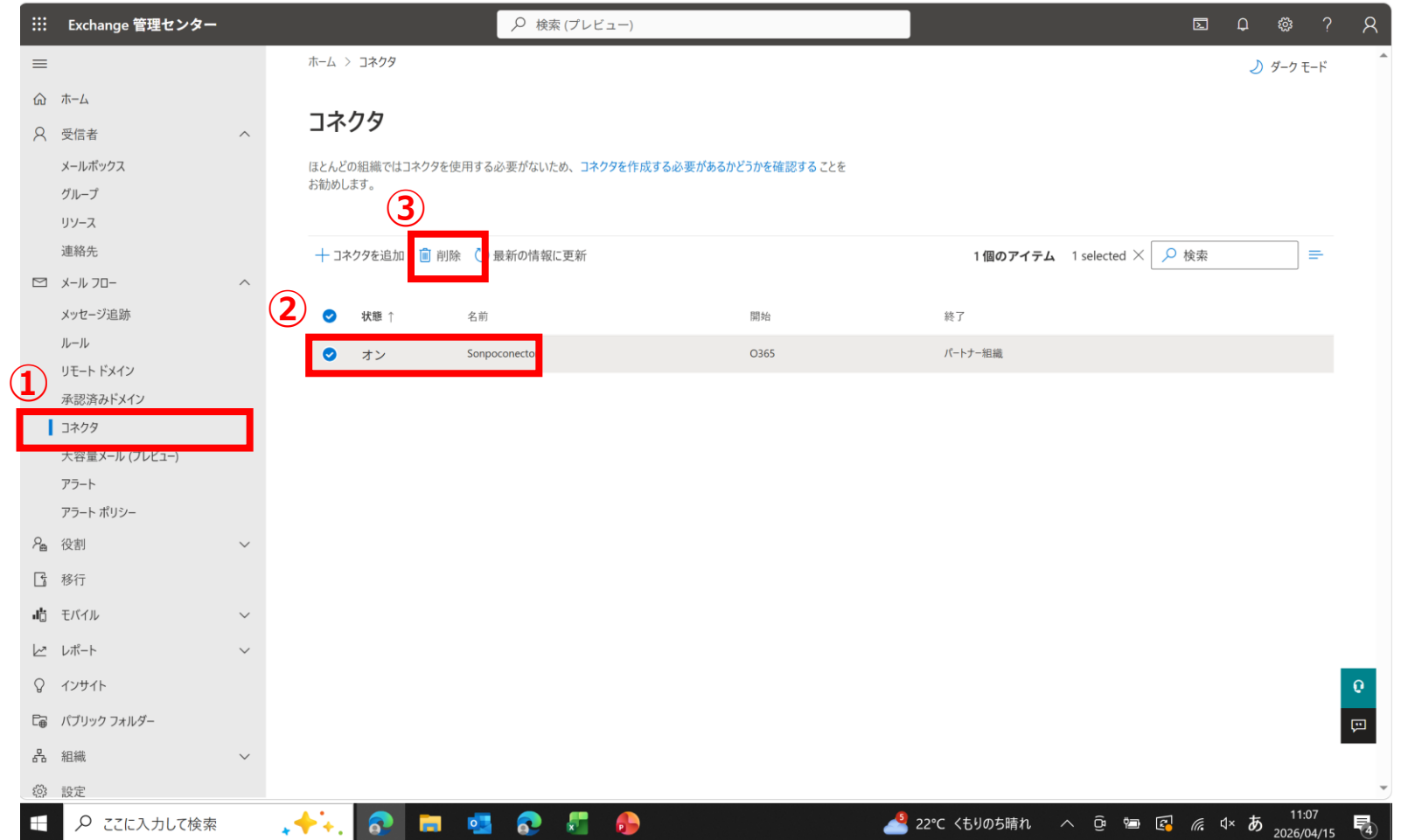


2 - 1. GUARDIANWALLのコネクタ削除

①「メールフロー」の「コネクタ」を選択

②「Sonpoconnector」を確認しチェック

③「削除」をクリック



2 – 1. GUARDIANWALLのコネクタ削除

以上で解除作業は終了です。

こちらでメール送信時のパスワード自動化、一定時間保留送信は使用できなくなります。

3. エラー解消手順

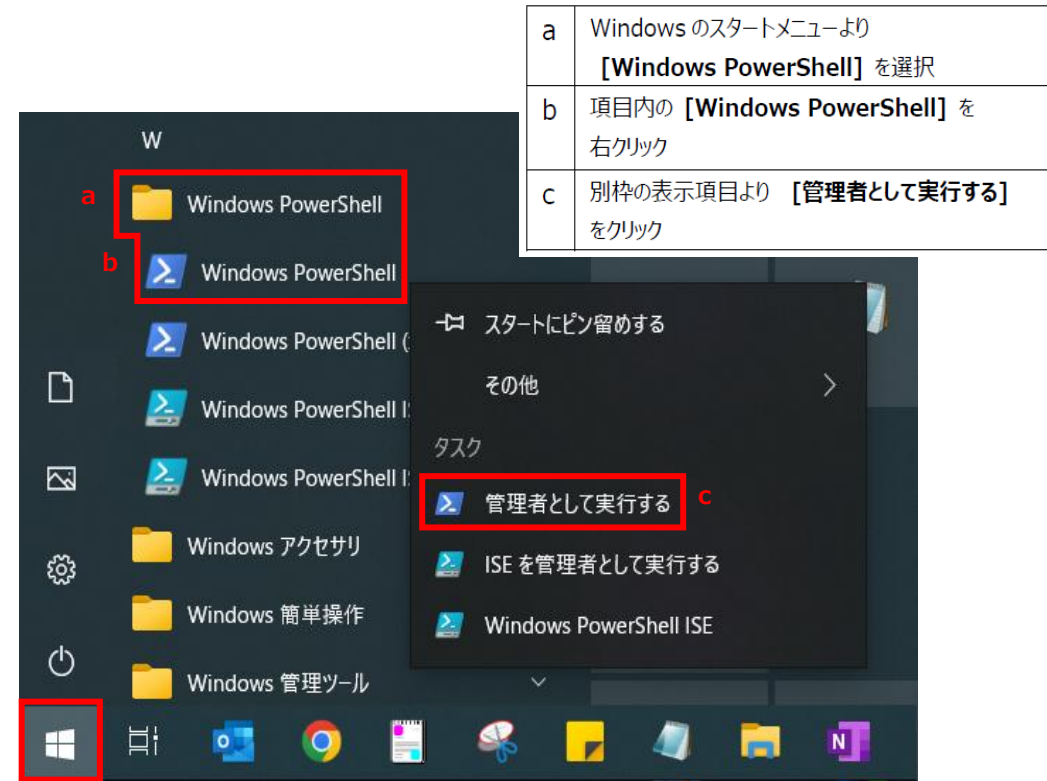
～ エラー解消手順 ～

■エラー 1 : Microsoft Graph APIの設定エラー

GraphAPIの設定が外れている、または有効期限が切れている可能性があります。
そのため、以下の手順でGraphAPIの再設定をお願いいたします。

【 1-1 : Windows PowerShellの操作 】

- ①Windowsのスタートメニューにて
右記の操作を実施し、Windows
PowerShell を起動します。



～ エラー解消手順 ～

■エラー1：Microsoft Graph APIの設定エラー

② Windows PowerShell にて **以下のコマンドを実施**、インストール可否のメッセージが表示されるので、「はい (Y) 」としての応答となる **Y** を入力します。

Install-Module Microsoft.Graph

③ 設定に必要なモジュールが、正常インストールされている事を確認するため、**以下のコマンドを実施**します。

Get-InstalledModule Microsoft.Graph

```
PS C:\WINDOWS\system32>
PS C:\WINDOWS\system32> Install-Module Microsoft.Graph

信頼されていないリポジトリ
信頼されていないリポジトリからモジュールをインストールしようとしています。
このリポジトリを信頼する場合は、Set-PSRepository コマンドレットを実行して、
リポジトリの InstallationPolicy の値を変更してください。
'PSGallery'からモジュールをインストールしますか?
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N)
[L] すべて無視(L) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "N") y
PS C:\WINDOWS\system32>
```

Y
を入力

```
PS C:\WINDOWS\system32> Get-InstalledModule Microsoft.Graph

Version      Name      Repository  Description
-----
1.20.0       Microsoft.Graph  PSGallery   Microsoft Graph PowerShell module
```

モジュールがインストール
されている場合には
Microsoft.Graph と表示

【注意】

- 上記と異なる画面が表示される場合、入力内容をご確認ください。それでも解消しない場合は、PC固有の原因が想定されますので、他のWindowsPCで①から実施ください。
解消しない場合は、表示されている画面のスクリーンショットを添付の上、特設ヘルプ窓口にお問合せをお願いいたします。

～ エラー解消手順 ～

■エラー 1 : Microsoft Graph APIの設定エラー

【1-2 : IIJ IDの操作】

① IIJ IDの管理画面へサインインし、IDとパスワードを入力します。

<https://www.auth.ij.jp/console/>

※お手元の「開通のご案内」に記載のIIJ IDの[ID]と[パスワード]をご用意ください。

② パスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

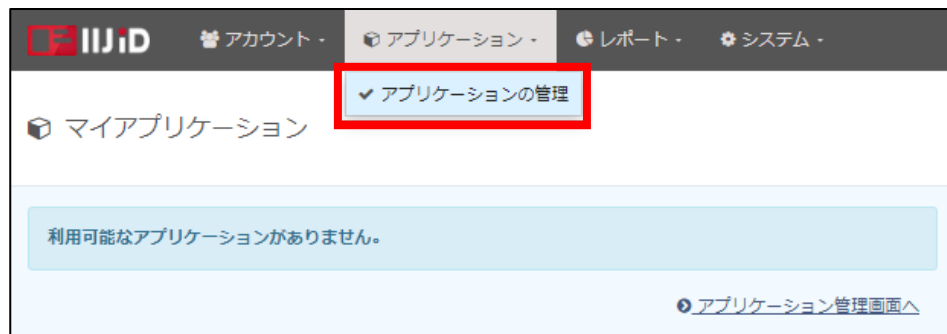
The image shows the IIJ ID management interface. At the top, there is a header with 'IIJ ID' and a '利用する' (Use) button. Below this, there is a table with two columns: 'ID' and 'パスワード'. The 'ID' column contains the text 'taro.tanaka@' followed by a redacted email address. The 'パスワード' column contains a redacted password. Below the table, there is a 'IIJ ID' logo and a '次へ' (Next) button, which is highlighted with a red box. Below the button, there is a red arrow pointing to the right. At the bottom, there is a footer with the text 'IIJ IDサービス概要 個人情報保護ポリシー 情報セキュリティ基本方針' and '© Internet Initiative Japan Inc.'.

The image shows the IIJ ID management interface. It features a 'IIJ ID' logo at the top. Below the logo, there are two input fields: 'ID' and 'パスワード' (Password). The 'ID' field contains the text 'taro.tanaka@' followed by a redacted email address. The 'パスワード' field contains a series of dots representing a masked password. Below the password field, there is a '次へ' (Next) button, which is highlighted with a red box. Below the button, there is a link that says 'パスワードを忘れた場合' (Forgot your password?). At the bottom, there is a link that says '別のアカウントでログインする' (Login with another account).

～ エラー解消手順 ～

■エラー1：Microsoft Graph APIの設定エラー

③ 上部メニューの [アプリケーション] より **[アプリケーションの管理]** をクリックします。



④ 表示された [Microsoft 365] のタイトルの **[編集する]** をクリックします。



～ エラー解消手順 ～

■エラー 1 : Microsoft Graph APIの設定エラー

⑤ 遷移した「アプリケーションの編集」画面のタブメニューより **a [Graph API設定]** を選択、画面内の **b [編集]** をクリック後に表示する **c [PowerShellスクリプトのダウンロード]** をクリックします。



～ エラー解消手順 ～

つながろう。驚きを。幸せを。

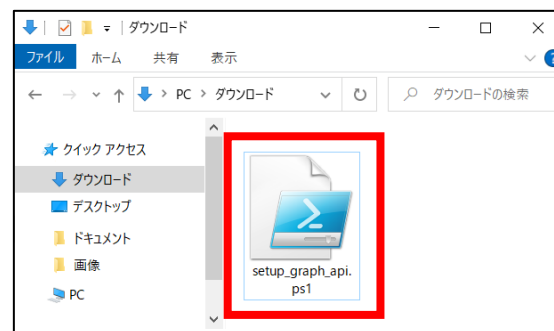
 **docomo Business**

■エラー 1 : Microsoft Graph APIの設定エラー

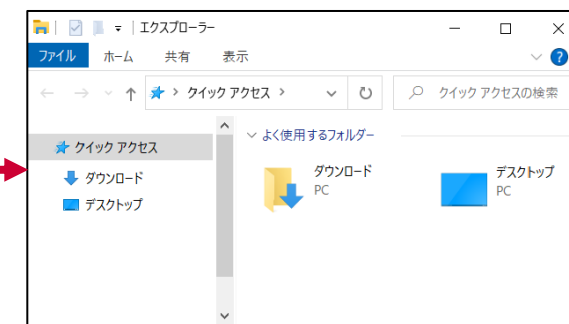
⑥ パソコン端末内の規定の箇所にダウンロードされたファイル名が「setup_graph_api.ps1」に対し、Windows Powershell で処理する際の参照先として、Cドライブに [temp] フォルダを作成します。

a) 既定のダウンロード先に
setup_graph_api.ps1 が
存在しているを確認します

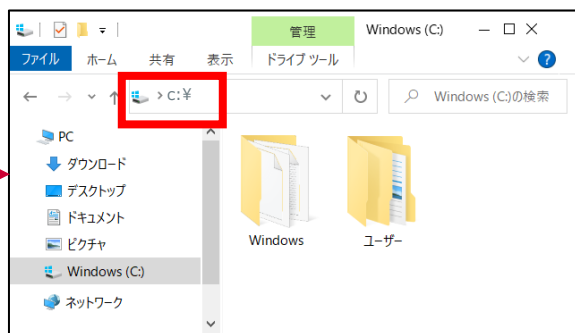
※ダウンロード先は、お客さまの利用環境により異なります



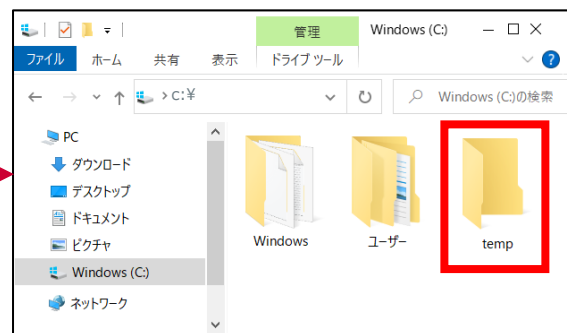
b) パソコン端末のキーボードにて
Windows + E でダウンロード
フォルダーとは別のフォルダーを起動
します



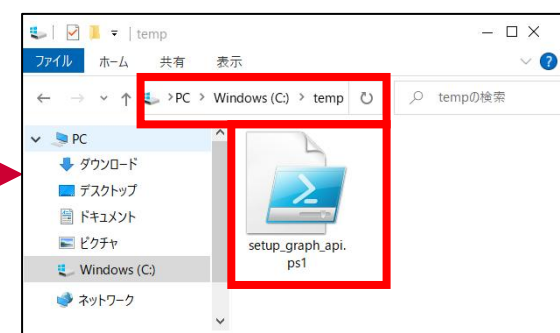
c) フォルダの枠内に [c:¥] と
入力、エンターキーを押下し、Cドラ
イブのフォルダーへ移動します



d) Cドライブのフォルダー内に、“
temp ” の名称で
新規フォルダーを作成します



e) ダウンロードフォルダーから
“setup_graph_api.ps1”
を作成した **temp** フォルダーに移動します



～ エラー解消手順 ～

■エラー1：Microsoft Graph APIの設定エラー

⑦ 「1-1：Windows PowerShellの操作」と同様の手順で、Windows Powershell を起動し、ダウンロードした「setup_graph_api.ps1」への対処として、右記の**各コマンドを順番に実行**します。

- a) ダウンロードファイルの設置場所 **temp フォルダ**を参照するため、以下を実行
※手順⑥ e)で保存したフォルダを指定

```
cd C:¥temp
```



- b) 行先頭のディレクトリ名が **PS C:¥temp>** に移動したのを確認し、以下を実行

```
powershell -ExecutionPolicy bypass -File "setup_graph_api.ps1"
```

⑧ Microsoft の認証要求がされた場合、「開通のご案内」の **[AdminUserName]** にてサインインし [次へ] をクリック、遷移したパスワード画面に**変更済のパスワード**を入力し、[サインイン] をクリックします。

※移行時点で**共通/ハイブリッド**プランをご利用の場合、右記赤文字の箇所には**移行申込書で指定した「お客様管理者アカウント」**を入力ください。

Office365管理者ID情報	
Office365管理者ID情報	https://portal.office.com
AdminUserName	admin@test123.onmicrosoft.com

サインイン

admin@xxxxx.onmicrosoft.com

[アカウントにアクセスできない場合](#)

[セキュリティキーでサインイン](#) ⑦

次へ

パスワードの入力

.....

[パスワードを忘れた場合](#)

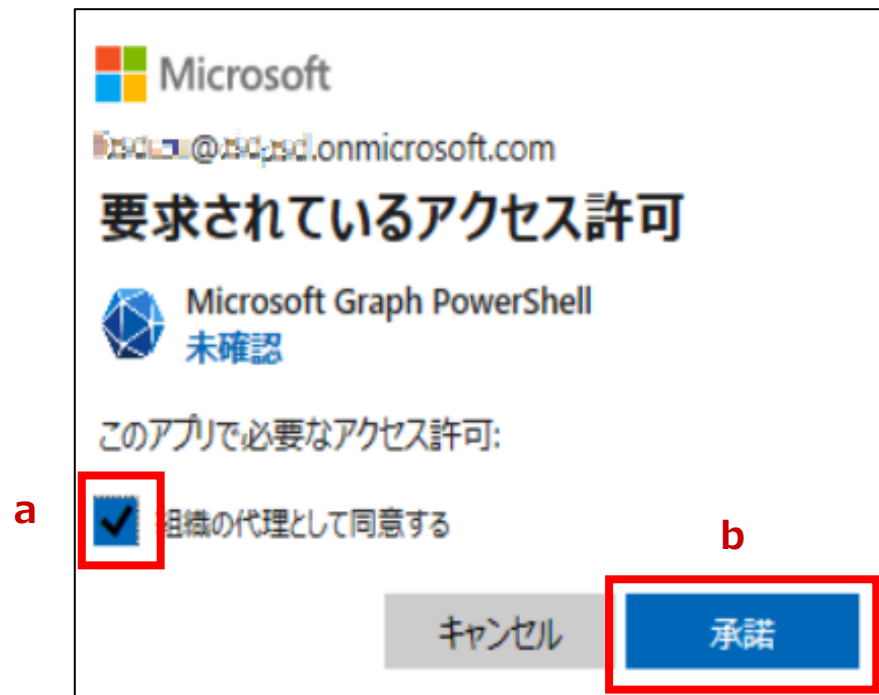
サインイン

～ エラー解消手順 ～

■エラー 1 : Microsoft Graph APIの設定エラー

⑨スクリプト処理に対するアクセス許可のメッセージ画面が表示するので、**a [組織の代理人として同意する]** をチェックし、**b [承認]** をクリックします。

※右図が表示されない場合は、
次の手順にお進みください。



～ エラー解消手順 ～

つながろう。驚きを。幸せを。



■エラー2：認証連携画面に「×他のアプリケーションで連携済み」と表示され、[解除]ボタンが表示されない

IIJ IDのコンソールに、「Microsoft 365」と「GUARDIANWALL」以外のアプリケーションが複数登録されている可能性があります。

アプリケーションの管理画面をご確認いただき、フェデレーション設定の画面で認証連携が**「有効」**と表示され、**「解除」**ボタンがあるアプリケーションから、解除をお願いします。

上記解除の前に、[全ユーザーのM365パスワード設定](#)(←該当ページへのリンク)が完了していることを、必ずご確認ください。

※共通/ハイブリッドプランの場合、**移行申込書で指定した「お客様管理者アカウント」**についても同様にご対応ください。

※個別プランの管理者アカウントについては、パスワード設定は不要です。

以上の作業が完了しましたら、

再度 [「IIJ IDのフェデレーション解除」](#) (←該当ページへのリンク)より作業をお願いします。

つながう。驚きを。幸せを。

